



おたより

2021年度 第2号

9月22日
桜の聖母短期大学
親と子のひろば

皆様いかがお過ごしでしょうか。親と子のひろばが10月より開始となります。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、皆様に安心して参加して頂けるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。元気な子どもたちの笑顔に会えるのを心から楽しみにしています。



子どもたちの笑顔・成長

コロナ禍で、再開した親と子のひろばですが、皆様のご協力のおかげで、沢山の方にご参加頂きました。本当にありがとうございます。元気な子供たちの様子をお伝えします。



カエルの歌を大きな声で歌いながらピアノを弾くMくん。学生さん、私に見守られながら、1曲弾くとまた別な部屋へ移動。一つ一つのお部屋でMくんのピアノとカエルの歌に合わせてみんなで合唱しました。何度も嬉しそうに歌を歌いながらピアノを弾く姿がありました。

学生さん、私はその姿に拍手。Mくんからも「楽しかったね。どれが上手だった？」と話がありました。「私も楽しかったよ。どのカエルの歌も上手だったね」と返事をする、Mくんは嬉しそうにうんうんと頷き、満面の笑顔を見せてくれました。

Mくんが本物のピアノに触れ、五感で感じ取り、楽しむ様子が伝わってきますね。

みんなで、楽しい時間を共有できたことを嬉しく思います。

6月に5ヶ月になるYちゃんは初めてひろばに来てくれました。その頃は体を斜めに動かし、寝返りを頑張っているかわいい姿がありました。7月には寝返りができるようになり、力強く足を蹴って、ずり這いをする姿と一緒に成長を見守れることに幸せを感じました。

1年生の学生さんは、初めて抱っこをさせて頂きました。快く抱っこをさせて下さるお母さんに感謝です。

学生さんは、「いつもどんなふうに抱っこをしているのですか？」とお母さんに教えて頂きながら、Yちゃんの顔を見つめ、ドキドキして抱っこする姿に、みんなが温かい雰囲気を感じました。

学生さんも「Yちゃんのぬくもりを感じます。抱っこさせて頂けて嬉しい」とずっとYちゃんの顔を優しく見つめ、コミュニケーションをとっていました。

学生さんにとっても素敵な出会い、学びがあったのではないのでしょうか。

いつも温かく見守って下さる保護者の皆様、本当にありがとうございます。



発見って楽しいね

外遊びが大好きなRくん。水鉄砲を見つけたRくんに、学生さんは「どうやったら水が入るかな？」と声をかけ、温かく見守っている様子。

Rくんは、水鉄砲に水を入れようとたらいに沈ませますが、なかなか入らずがっかりしているようでした。

水が入っているタンクを見つけたRくんは、蛇口をひねり、蛇口の下に水鉄砲の水が入る所を向けて、水を入れ始めました。

蛇口を調整しながら、量を変えていますが、水が少ししか出てこない為、タンクの上の水入れの蓋を開けると「ジャー」と勢いがよく水が出て「やった～！」と大喜びのRくん。

水が沢山入る方法を色々と試しながら、発見する喜びを感じわくわくした表情が見られました。



その後ブルーベリーの木を見つけ「実がなってる！」とブルーベリーの実を発見。

「こっちにもなってる！」と青い実、熟した実を見つけ嬉しそうに木を一周。学生さんはRくんに「青い実、赤い実があるね。ブルーベリーっていう実なんだよ。青い実が赤くなると食べれるんだよ」と伝えると「食べる！」とRくん。

生まれて初めてブルーベリーを食べるRくん。「すっぱい、でも美味しいね」とあっという間に2つ食べました。

自分で見つけて食べたブルーベリーは特別美味しかったのではないかな。

学生さんがRくんに寄り添い、丁寧に声がけをする中に好奇心が広がったのを感じました。ひろばで思いっきりやりたいことにチャレンジして、子どもたちが心豊かに育ってもらえたらと願っています。



メダカに夢中の姉Kちゃん、弟Sくん。

「あっ、たくさんメダカがいる。かわいい。」等と嬉しそうに教えてくれました。

何度も水槽の前に来て、メダカから目を離さないうで、じっくり観察していましたね。



遊び込む喜び

幼稚園・小学校に入園したお兄さん、お姉さんも夏休みになり、ひろばに遊びに来てくれました。久しぶりの再会に子どもたちにも笑顔がみられ、大きく成長した姿に感動しました。

Sちゃんは、学生さんに見守られながら、ブロックで素敵な動物園を作りました。Sちゃんが全部考えて作った作品。

動物の周りには柵も道もしっかりと作られ、「動物たちがこの道を通って行けるんだよ」と動物が移動できる道も作っているSちゃん。自分のイメージを広げて、作り上げることができ、完成した動物園を見て、Sちゃんは、とてもはじけるような笑顔を見せてくれました。

そこに動物園の魅力を感じ、弟のSくんも遊びに加わりました。Sくんは動物を持って遊んでいるうちに、動物園が壊れてしまいましたが、姉のSちゃんはその様子を優しく見守っていました。

お母さんからは、「いつもはSちゃんが遊んでいても、途中で弟が参加して途中までの時も多いのですが、今日はお姉さんと満足いくまで遊べたので、壊されても十分満たされたようです。思いっきり遊べて良かったです。」と嬉しいお話を頂きました。



その後Sちゃんは、「動物たちにバイバイする」と満足した表情で動物園を片付けていました。学生さんと一緒に、自分のイメージを広げ動物園を完成できたSちゃんの表情は、とても晴れやかでした。

学生さんも子どもたちと一緒に遊びを楽しみ、子どもたちは学生さんに見守られる安心感の中で満足するまで遊び込める環境の大切さをしみじみ感じました。

その日は、とても暑い日だったので、水遊びが楽しめる環境をと思い、学生の皆さんとテラスにビニールプールとたらいを準備しました。

冷たないようにお湯を入れたので、沢山お湯を入れたたらいでは、「こっちはお風呂みたいで温かくて気持ちがいいね」と全身でたらいに入り、水の温度を身体で感じてくつろぐ子どもたちもいました。

水の力で動くおもちゃでは「どうやったら回るかな？」とジョーロやバケツで上から流したりと水の量を変えながら、色々実験。

その他金魚すくいをしたり、水鉄砲をしたり、それぞれに水遊びを楽しんでいました。

保護者の皆様からは、「コロナ禍で遊び場になかなか行けない為、水遊びができて良かった」との声を頂きました。



一期一会の出会い

前期のひろばで、それぞれの新しい生活をスタートされたお友達がいらっしゃいます。またひろばに遊びに来てくれるのを楽しみにしています。ひろばでの一期一会の出会いを大切にしていきたいとしみじみと感じました。

午後引っ越しにも関わらず「ひろばの皆さんに挨拶したい」と駆け付けてくれたＹちゃん親子。わらべ歌が大好きで、スカーフを使ったわらべ歌では、始まる前からスカーフを握りしめていましたね。さよならあんころもちでは、円の真ん中で体を振って全身で楽しさを表現してくれました。いつもみんなを笑顔にしてくれたＹちゃん。

お母さんからは、「コロナ禍で不安で知り合いも少ない中、ひろばに参加して沢山のお母さん方と出会えて救われました」とのお話を頂きました。



幼稚園に入園する子どもたち。ご入園おめでとうございます。

野外保育では、佐々木牧場やバラ園へ行き、野原を散歩したりしましたね。ひろばでは、お味噌を作ったり、おままごと、水遊びなど一緒に過ごした日々は私の宝物です。初めは緊張し、お母さんのそばを離れなかった子どもたちも何度もひろばに参加するにつれ、安心し、自由に遊びに夢中になる姿が見られました。

子育ての時期は、とても忙しく悩むことも色々あるのではないのでしょうか。

私も小学校1年生の息子の子育てに奮闘中ですが、先輩ママさんから、「後から振り返ると子育ての大変なこと、悩んだこともすべて意味があるし、子どもとのかけがえのない思い出になるから。子育てを楽しめるといいね」と言われたことがあります。

未来の宝である子どもたち一人一人の無限の可能性をどこまでも信じ、みんなで支え合いながら大切に育てていけたらと願っています。また元気な姿で遊びに来てくださいね。



コロナ禍だからこそ～大切にしたい人とのつながり～

昨年からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、子どもたち、保護者の皆様も、沢山のやりたいことも我慢し、感染しないように注意し、生活をされているのではないのでしょうか？一日も早く収束することを願わずにはられません。

こんなコロナ禍だからこそ、人との心のつながりを大切にして、おもちゃの消毒、常時換気、マスクの着用など皆様にご協力を頂きながら、安心して集える場所を作っていきたいと心から感じています。皆様にとって居心地がよく、ほっとできる温かい居場所に親と子のひろばがなれたら嬉しいです。少しでも皆様と楽しい時間を共有できたらと思い、学生の皆さんにお手伝いを頂き、パネルシアターやエプロンシアター、ビック絵本、紙芝居などを行っています。

エプロンシアター「大きなかぶ」では、子どもたちも「うんとこしょ、どっこいしょ」と大きなかぶが抜けるように声をかけてくれました。

皆の応援のおかげで、大きなかぶが抜け、子どもたちもかぶの大きさにびっくり。保護者の方からは、「いつもはなかなか座って見ることが少ないのですが、今日は目を離さずに楽しんでいる姿を見て嬉しかったです」とお話を頂きました。



パネルシアター「カレーライス号」では、学生さんの手遊び歌に合わせて、子どもたちと一緒に歌ったり、様々なしかけに子どもたちも「次はどうなるのかな？」と目を輝かせ楽しんでいましたね。

これからもわくわくするシアター、わらべ歌等をしていきたいと思っています。



保育室の床が新しくなりました



ずっと念願だった保育室の床を9月に工事して頂き、新しくなりました。
これからは、もっと子どもたちにとって快適な環境で過ごして頂けると思います。

文責 富田 祐香

今後の予定

10月・・・6日（水）・8日（金）・13日（水）・15日（金）・27日（水）・29日（金）

11月・・・10日（水）・17日（水）・19日（金）・24日（水）・26日（金）

12月・・・1日（水）・3日（金）

1月・・・7日（金）・12（水）・14日（金）・21日（金）・28日（金）

予約サイトを通して、申し込みをお願いします。
皆さまのご予約をお待ちしています。



桜の聖母短期大学

福島市花園町3-6

☎024-534-7137（代表）